

太陽ホールディングス子会社の太陽インキ製造が 米Apple向け100%クリーンエネルギー生産を約束

太陽ホールディングス株式会社(本社：東京都豊島区、代表取締役社長：佐藤 英志)の子会社である太陽インキ製造株式会社(本社：埼玉県比企郡嵐山町、代表取締役社長：佐藤 英志)は、この度、製造パートナーとしてApple向けの生産を100%クリーンエネルギーで行うことを約束しました。

Appleは、2018年4月10日付で、100%再生可能エネルギー化に向けた取り組みに参加する新規サプライヤー9社を発表し、太陽インキ製造は、その1社となりました (Appleプレスリリース: <https://nr.apple.com/dE4c2C4g2X>)。



嵐山水上太陽光発電所
(埼玉県比企郡嵐山町)



嵐山大沼水上太陽光発電所
(埼玉県比企郡嵐山町/太陽インキ製造本社隣接地)

太陽インキ製造は、日本でプリント基板用のソルダーレジスト (ソルダーマスク) を製造しています。2014年より稼働するフロート式水上太陽光発電により、埼玉の工場で生産するApple向け製品を100%再生可能エネルギーでまかなうことを可能としています。

今後とも、太陽ホールディングスグループでは、自然環境にやさしい「再生可能エネルギー」の普及促進や、地球規模の環境問題に真剣に取り組むことで社会に貢献してまいります。

水上太陽光発電所 概要

2014年12月、自然エネルギー等による発電事業および電気の供給、販売等に関する業務を目的とし、太陽グリーンエナジー株式会社を設立しました。2015年10月、再生可能エネルギー特別措置法に基づく再生可能エネルギー全量買取制度導入にともない、埼玉県比企郡嵐山町で太陽光発電事業を開始しています。

屋根や地上に比べ水上設置の場合は太陽光パネルの温度上昇を抑えることができるため、発電効率の点で有利といえます。また、水面への日射をさえぎることによるアオコの発生防止も期待できます。

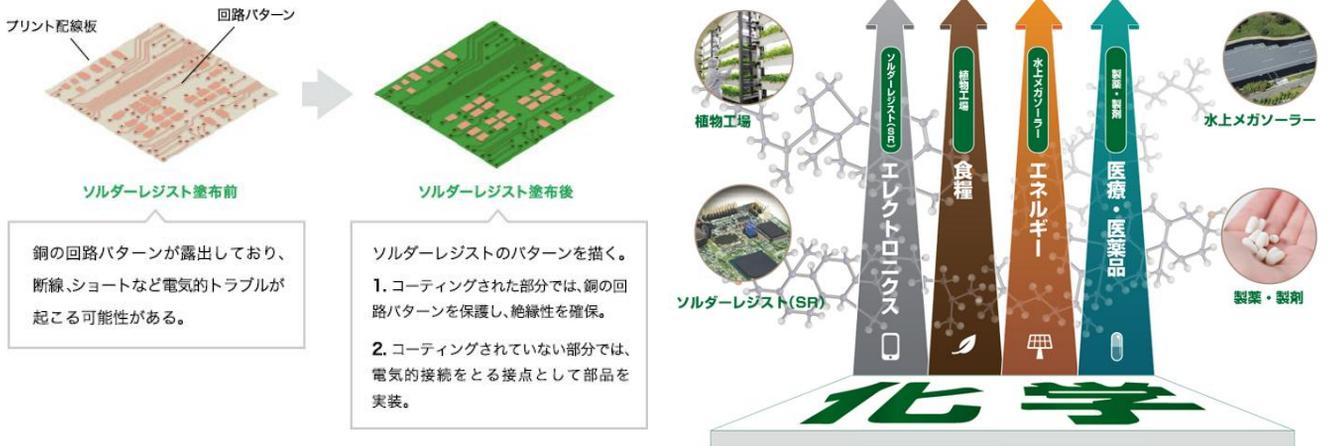
また、2017年12月には太陽インキ製造埼玉工場隣接のため池で2基目となる発電施設が稼働を開始しました。発電された電力は全て当工場の運営に利用され、当工場で使用される総電力の約5%に相当します。

【嵐山水上太陽光発電所】 発電規模：約1,150kW 想定発電量：約 1,340 千 kWh/年

【嵐山大沼水上太陽光発電所】 発電規模：約 318kW 想定発電量：約 333 千 kWh/年

太陽ホールディングス 事業紹介

太陽ホールディングスは、「ソルダーレジスト」の世界シェアナンバー1メーカーです。スマートフォンやパソコンなどのIT機器やデジタル家電、車載用電子機器などあらゆるエレクトロニクス製品に利用されるプリント配線板(電子回路)に使用される緑色のインキ(絶縁材)がソルダーレジストです。ソルダーレジスト事業にとどまらずグローバル総合化学企業になることを目指し、化学を基盤とする新分野へ踏み出します。従来のエレクトロニクス事業に加え、食糧、エネルギー※1、医療・医薬品※2の分野に進出しています。



※1「太陽グリーンエナジー株式会社」太陽光発電事業会社として、2014年12月に設立。現在は植物工場の運営も行う。

※2「太陽ファルマ株式会社」医薬品事業会社として、2017年8月に設立。

太陽ホールディングス会社概要

- 【本店所在地】 〒355-0222 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
- 【本社】 〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 メトロポリタンプラザビル16階
- 【代表】 佐藤 英志
- 【創業】 1953年(昭和28年)9月29日
- 【資本金】 92億3,216万円
- 【従業員数】 連結 1,249名/単体 85名(2017年3月31日現在)